

平成 27年 06月 06日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

遠州建築士による住まい

グループの名称

遠州建築士による住まいの会

直近採択グループ番号

04-0274-0263

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

花嶋 久治

代表者印

代表者所属先

ハナジマ設計一級建築士事務所

代表者構成員番号

V-2

代表者所在地

静岡県周智郡森町森1204-4

代表者電話番号

0538-85-1357

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 尾崎工務店

事務局構成員番号

VI-1

事務局担当者名

佐野 透

印

事務局郵便番号

436-0222

事務局所在地

静岡県掛川市下垂木2445番地

事務局電話番号

0537-24-6678

事務局FAX

0537-24-7212

事務局担当者E-mail

sano@ozaki-k.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	遠州建築士による住まい
2. グループの名称(必須)	遠州建築士による住まいの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0274-0263
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県中西部地域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	花嶋 久治
7. グループ代表者の所属先(必須)	ハナジマ設計一級建築士事務所
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-2
9. グループ代表者所在地(必須)	静岡県周智郡森町森1204-4
10. グループ代表者電話番号(必須)	0538-85-1357
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 尾崎工務店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	佐野 透
14. グループ事務局郵便番号(必須)	436-0222
15. グループ事務局所在地(必須)	静岡県掛川市下垂木2445番地
16. グループ事務局電話番号(必須)	0537-24-6678
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0537-24-7212
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	sano@ozaki-k.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	3	
V. 設計	28	
VI. 施工	34	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	3	
IX. I～VIII以外の業種	2	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	しずおか優良木材	静岡県	しずおか優良木材認証制度	1	国内
	静岡県産材	静岡県	静岡県産材認証制度	1	国内
	合法木材	全国	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 40 戸		地域材加算合計 40 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 30 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 10 戸		
	うち申請が確実 10 戸	うち申請が確実 3 戸	地域材加算(うち申請が確実) 13 戸	
	うち申請が未確定 20 戸	うち申請が未確定 7 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 27 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 2 戸	地域材加算合計 2 戸		
	うち申請が確実 1 戸	地域材加算(うち申請が確実) 1 戸		
	うち申請が未確定 1 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 1 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 3 戸	地域材加算合計 3 戸		
	うち申請が確実 1 戸	地域材加算(うち申請が確実) 1 戸		
	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 2 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 1 棟 200 m ²			
	うち申請が未確定 1 棟 200 m ²			

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	各施工者に最低1棟以上の申請戸数を割り振る。			
--	------------------------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 14 戸	交付申請戸数 11 戸	竣工済 3 戸	竣工予定 8 戸
	木造建築物			
	採択棟数 11 棟	採択床面積 1,680 m ²		

<地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み>

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 遠州建築士による住まい	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 遠州建築士による住まいの会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0274-0263	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】

①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・南海トラフ地震等の大地震に備えた耐震性の高い住宅(住宅性能評価基準:耐震等級2以上) ・自然を取込み、周辺環境に配慮した省エネルギー性の高い住宅 (住宅性能評価基準:断熱等性能等級4を基本とし一次エネルギー消費量等級5を目指す)
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・静岡県産材、特に地元で産出される天竜材を構造材、仕上材になるべく利用する ・降水量が多いため勾配屋根を基本とする ・耐力壁は釣り合いよく配置する
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・地元で産出される木材を活かしたデザインとする ・自然光、通風を活かすことのできるデザインとする ・詳細は遠州建築士による地域設計ルールによる
④①～③の背景	静岡県中西部は温暖で、過ごし易い気候である。平地と山間部では気候の差が有る。その山間部には全国で2番目に広い日美林と謳われるスギ人工林を有することから、良質な建築資材として地域の自然環境や林業産業、建築産業に密接な関係を築いた北部山岳地帯を除けば全体的に温暖な四季のある安定した気候であり、冬は乾燥して天候が良く、平地では積雪が少なく安定水量は多いが、日照時間は日本でも有数の長さを誇る地域である。 本県は東南海地震が予測されている県であり、県内の南海トラフ大地震(マグネチュード9程度)による建物の倒壊は19万棟に上れている。(平成25年度、静岡県発表より)
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・工務店から独立した設計事務所が住宅の工事監理を客観的に行うことにより住宅の品質を確保する

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】

a	
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	・「遠州スタイル」という地域型モデル住宅を提案し、標準的な部材を示し、積算から施工方法を検討することで合理化・効率化を目指す ・土台は3.5寸角(檜材)以上、柱は3.5寸角(檜、杉材)以上、通し柱は4.0寸角(檜、杉材)以上、梁材は原則3.5寸幅以上とする ・地域市場で入手しやすいサイズとし、継手なるべく減らすように木材を使用する
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	・グループ内の流通業者に調達先を集約して共同化を図る ・書類、図面、見積書等共通化することで、事務手続きの簡素化を図る
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	・いままですらに技術委員会にて検討を行うほか、新たにグループ内の施工者と設計者、素材生産者が定期的に会合を行い、いの方策を策定する。
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	・これまでの取組みから、生産性の向上につながる取組みを見つけ出し、規格の統一、部材の標準化を進め、標準仕様に取り役割を担う
b.	
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	・静岡県構造設計指針及び遠州建築士による地域設計ルールに沿った標準設計図書、建築工事特記仕様書に従い工事を履行 ・地盤調査を必ず実施。地耐力30kN未満の際は、適切な地盤改良工事を行い原則として地耐力30kNを確保する
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	・施工チェックリストによる工程ごとのチェックを行う
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	設計図書及び標準見積書を作成し施主に提示し、契約書は原則として「旧四会連合契約書」を利用する
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	・工務店から独立した設計事務所が工事監理を行うことで、住宅の品質を確保する ・消費者に対しHP等で情報開示を行い信頼性を高める ・構造見学会、完成見学会を行い、施工品質をPRする

	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・静岡県西部の「遠州」地区の特色をより活かす為に「遠州スタイル」を提唱し地域に適したモデル住宅を提示する
--	---	--

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



<地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み>

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 遠州建築士による住まい	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 遠州建築士による住まいの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0274-0263	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】

a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理ガイドラインと、定期点検チェックシートに基づいた定期点検報告書の発行 設計図書、工事監理経過報告書、定期点検チェック結果書等の報告書を取得する 「まもりすまいカルテ」を活用して住宅履歴情報管理の発行の義務化 竣工後のメンテナンス実施報告書の提出義務付け
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	<ul style="list-style-type: none"> リフォームリノベーション委員会で検討し、基準を作成する
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	<ul style="list-style-type: none"> 構造見学会、完成見学会を行う時に同時に相談会を開催する 単独で住宅相談会を開催する(年2回程度)
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	<ul style="list-style-type: none"> リフォームリノベーション委員会で引続き維持管理、リフォームについて検討を行う
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	<ul style="list-style-type: none"> 施工業者、設計事務所が廃業又は倒産した場合は、グループ内で継承者を斡旋して維持管理体制を守る
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	<ul style="list-style-type: none"> リフォーム、増改築時にも瑕疵担保保険に加入するように働きかける 住宅完成保証制度への加入を働きかける
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】

a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> 実地研修と座学研修の開催
	② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	<ul style="list-style-type: none"> 実地研修: 構造見学会開催時に未実施工務店に技術研修を行う(年2回程度) 座学研修: 「(一財)静岡県建築住宅まちづくりセンター」の講師による長期優良住宅基準の勉強会(年2回程度)
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 施主に向けて具体的に提案できるよう住まい手像を明確にした長期優良住宅プランを作成し、仕様や見積り内容を 消費者に向けて勉強会、相談会を開催し需要の開拓を行う 理事会にて今後の需給計画案を策定する
	④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	<ul style="list-style-type: none"> 「遠州スタイル」住宅の標準施工方法を作成しグループ内で共有していくことで施工の合理化を目指す
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	<ul style="list-style-type: none"> 設計者、施工者とも一社に一人講習会の参加を目指す
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で講習会参加状況を定期的に把握し、受講者がいない会社に対しては理事会から直接参加を要望する
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、工法、材料、設備の検討会議を実施し、構成員の情報の共有化を図る。また、視察等を行い常に生産技術 いく
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	<ul style="list-style-type: none"> 技術委員会で検討した結果導入可能な新技術があればグループ内に情報提供し技術委員会とともに導入の検討を 開発すべき新技術の要望があれば技術委員会で実証実験を行う

その他
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。

・技術委員会を中心として、未経験構成員のサポートチームを作り提案から設計・施工までのアドバイスをを行う
・既存住宅インスペクションのできるインスペクター資格の取得を積極的に勧める

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

<様式3-2>

	◎、○ 記入欄
	◎
	○
	○
	○
	◎
	○
	◎、○ 記入欄
	○
	○
も有する	○
	○
	○
	○
術の検証、導入をして	○
行う	○



<地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み>

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 遠州建築士による住まい	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 遠州建築士による住まいの会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0274-0263	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】

a	①地域材ごとの使用部位(必須)	・主要構造部、下地材、仕上材
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	・主要構造部材の50%以上、しずおか優良木材又は静岡県産材(主として天竜材)を使用する。 ・下地材、仕上材に10㎡以上静岡県産材又は合法木材の国産材を使用する。
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	・土台は3.5寸角(檜材)以上、柱は3.5寸角(檜、杉材)以上、通し柱は4.0寸角(檜、杉材)以上、梁材は原則3.5寸幅以上とする ・地域市場で入手しやすいサイズとし、継手をなるべく減らすように木材を使用する ・主要構造部には、含水率20%以下(杉梁については25%以下とする)を原則とする
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	別添
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	グループ構成員が閲覧できるHPによる在庫情報共有システムを立ち上げ情報が共有できる体制の構築を目指す
	②グループ全体における地域材の需給予測	申請予定戸数 × 15㎡ = 40戸 × 15㎡ = 600㎡
c	①-1 畳の活用	・なるべく地元で生産された畳の利用促進に努める
	①-2 和瓦の活用	・和瓦の利用促進に努める
	①-3 襖の活用	・地元産の木材を利用し地元で生産された襖の利用促進に努める
	①-4 障子の活用	・地元産の木材を利用し地元で生産された障子の利用促進に努める
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	・遠州地区独特の素材・デザインをグループ内で情報共有し、積極的に導入に努める
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	・地域に古くから残る民家、社寺仏閣の見学会を開催し地域の伝統的デザインを発掘復興し、継承を図る
	②地域の住まい方の継承につながる取組	・古民家の見学会やお年寄りに話を伺い地域の住まい方を勉強する
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	・当会による地域型住宅の主な供給地域である静岡県中西部(遠州地域)は、掛川・菊川・御前崎・袋井・磐田市と森町5る地域であり、それぞれに独特の街並みがある。それぞれの街並みに調和したデザインを取り入れて地域の景観形成に努める
	④和の住まいの要素を取り入れた取組	・従来からある和の住まいには環境に対し優しい技術(深い庇や軒、障子、土間、広縁)が多く含まれているので、地域のし、「遠州スタイル」に積極的に取り入れる努力を行う。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・図面及び完成写真、建具や畳を使用した内観写真等をHPに掲載する。

その他

【平成27年度対応方針】

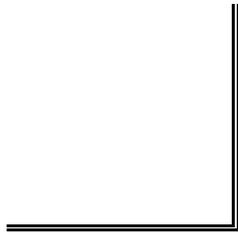
東日本大震災の復興に資する取組	・被災地で生産される資材の利用促進に努める ・災害復興住宅のモデルプラン作成と防災対策マニュアル作成を目指す
-----------------	---

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

- ・外皮は、なるべく安価に高性能化できる断熱材、外部建具窓、仕上材を利用する
- ・給湯設備はエコキュート、エコジョーズなどの高効率タイプの設備を用いる。また水栓には節水タイプの器具を用いる
- ・照明器具は白熱灯を用いず、LEDタイプをなるべく利用する
- ・換気扇はDCタイプの利用を推奨する
- ・空調機器は省エネタイプの利用を推奨する
- ・日照時間が長いので太陽光発電の設置を推奨する
- ・自然風の利用や、昼光の利用に努め、設備機器に頼らない省エネを目指す
- ・敷地に落葉樹を植生し、夏季の日射遮蔽、冬季の日射取得に利用する
- ・高効率家電の採用を施主に働きかける
- ・雨水タンクの設置を推奨する

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



第二回計画変更

業種区分	種別	構成員番号	事業者名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号
Ⅱ.製材・集成材製造・合板製造	新規追加	Ⅱ-90	浜松木材工業株式会社	430-0834	静岡県	浜松市南区松島町966	0534250181
Ⅱ.製材・集成材製造・合板製造	情報の変更	Ⅱ-7	有限会社 アマノ	437-0226	静岡県	周智郡森町一宮175	0538897521
Ⅲ.建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	新規追加	Ⅲ-91	有限会社滝川	435-0036	静岡県	浜松市南区渡瀬町299	0534614458
Ⅲ.建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	情報の変更	Ⅲ-7	有限会社 アマノ	437-0226	静岡県	周智郡森町一宮175	0538897521

第二回計画変更

業種区分	種別	構成員番号	事業者名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号	元請の新築住宅供給戸数 (H26年実績)	元請の新築住宅供給戸数 (直近3年平均)	うち木造長期優良住宅 (H26年実績)	うち木造長期優良住宅 (直近3年平均)	うち木造低炭素住宅 (H26年実績)	うち木造低炭素住宅 (直近3年平均)	うち木造ゼロエネ住宅 (H26年実績)	うち木造ゼロエネ住宅 (直近3年平均)	優良建築物着工床面積 (H26年実績)	優良建築物着工床面積 (直近3年平均)	長期優良住宅に関する補助金の活用実績	ゼロエネ住宅に関する補助金の活用実績	優良建築物に関する補助金の活用実績	被災地に該当	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定	
VI.施工	情報の変更	VI-7	有限会社 アマノ	437-0226	静岡県	周智郡森町一宮175	0538897521	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0							○